

研究課題名	当院におけるがん遺伝子パネル検査のデータベース構築
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	産婦人科 渡邊 尚文
研究期間	2025年 8月 ～ 2030年 7月
研究の意義・目的	がんゲノム医療は、がんのゲノム情報をがん組織や血液から採取・解析し、その情報に基づいて診断や治療を行う医療であり、難治がんを含む様々ながん種に新たな治療法の可能性を広げる期待がもたれています。当院でがん遺伝子パネル検査を施行した検査結果や臨床情報を集計・分析する事で、がんゲノム医療の質の向上に役立て、患者に最善の医療を提供することを目的としました。加えて、臨床現場でさらに充実したがん医療を提供でき、ひいては新たな医療に取り組む手助けをすることが可能となります。
研究の方法 (対象期間含む)	2019年6月以降、当院で保険診療下にごがん遺伝子パネル検査を施行された患者様の、C-CAT（がんゲノム情報管理センター）へ登録された臨床情報、検査結果（ゲノム情報）、エキスパートパネルの情報（治療方針、二次的所見等）などを抽出し、データベース化を行います。この研究成果は、学会発表、学術雑誌および病院ホームページなどで公表します。研究期間は2025年8月～2030年7月までになります。
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①試料・情報の利用目的および利用方法 研究独自の番号を付して匿名化し、研究対象者の秘密保護に十分に配慮します。
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②利用し、又は提供する試料・情報の項目 C-CATへ登録した臨床情報、がん遺伝子パネル検査のゲノム情報、エキスパートパネルの情報（治療方針、二次的所見等）など
③試料・情報の取得 の方法	③試料・情報の取得の方法 C-CAT登録データベース、検査結果、カルテ記載情報から抽出します。
④利用する者の範囲	④利用する者の範囲 当院の研究責任者及び研究分担者がデータ取得とデータベース構築をします。
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 研究責任者 産婦人科 渡邊 尚文 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 産婦人科 氏名 渡邊尚文 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525